

金沢市新規採用職員防災研修会【研修生向け】アンケート結果

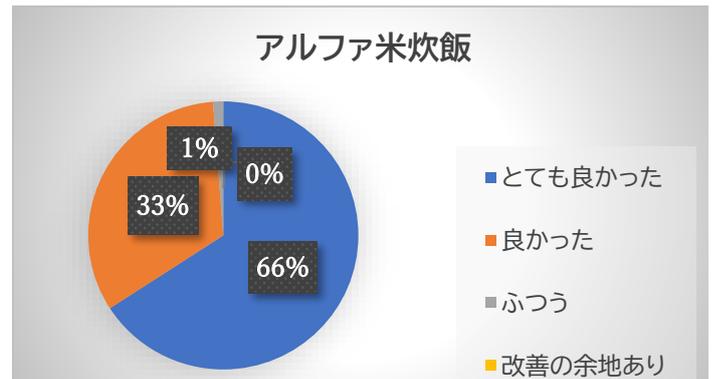
かなざわコミュニティー防災士ネットワーク
女性福祉推進部 横浜

研修生 82 名 参加者全員の回答を得た。

以下、報告いたします。

1. アルファ米炊飯について

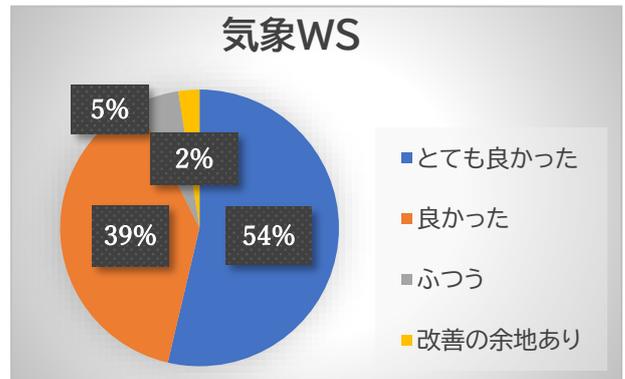
とても良かった (54)
良かった (27)
ふつう (1)
改善の余地あり



- ・思ったより以上に美味しかった
- ・直接体験できなかったのは残念だったが、良い勉強になった。今後いつかの為に憶えておきたい
- ・実際に配るという体験が出来たので良かった
- ・実際に目の前で作り方を見る事が出来て良かった
- ・避難所生活になった時、どんなものを食べるのか想像出来た
- ・おもちみたいで美味しかった
- ・非常時に助かる
- ・実際にやっていないが、雰囲気を知った
- ・水は多くべったりしていたが美味しかった
- ・少量でお腹が満たされるので驚いた。コスパが良い。
- ・50人分は作ったことがないので、勉強になった。初めて見る事が出来た。
- ・調理を手際良くすることが大事だと思った
- ・被災中のお米は有難い
- ・丁寧な説明でとてもわかりやすかった。災害時には積極的に動けるようにしたい。
- ・お湯だけで出来る手軽さに驚いた
- ・美味しかったです。贅沢は言えないが炊込みご飯のように味付けがあると食べやすいかな
- ・水の量が難しかった
- ・美味しくて2皿食べた
- ・お粥に近く、正直美味しくなかったが、老若男女問わずすべての人が食べやすいものだと思った
- ・アレンジなど知ることが出来た
- ・緊急時の食事は美味しいだけではなく、みんなにいきなりみんなで食べる事が出来るようにすることが大切。
- ・前日にアルファ米について調べていたが、個別になっているものは自分で備えるのもいいなと思った
- ・実際にどのような感じに入っているのか、どのように作るのか理解し易かった

2. 気象WSについて

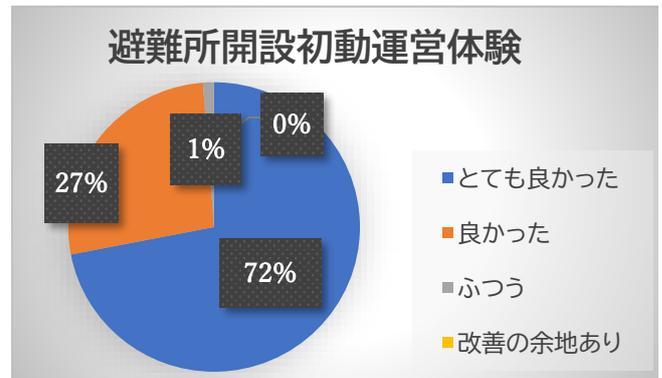
とても良かった	(44)
良かった	(32)
ふつう	(4)
改善の余地あり	(2)



- ・短い時間ではあるが、大雨の際の避難について考えられた
- ・自宅付近のハザードマップを再確認しておきたい
- ・事例によって見方を考えるのが面白かった。防災意識の向上につながった
- ・研修会ででた意見が勉強になった
- ・動画が流れている時に司会者の声が聞こえにくかった
- ・非常にためになる情報だった。実際に自分はどう行動すべきか考える事ができた
- ・気を引き締めたい
- ・今後は警報が発令された時、情報をしっかり収集する
- ・自分の地域に置き換えて、もしもの時の行動をシミュレーション出来て良かった
- ・事前の情報収集、適切な行動をとる重要性を学んだ
- ・避難の方法や心持ち、事前の備えが必要と知った
- ・いろいろな人の意見が聞けて良かった
- ・後ろの席で防災士の声が聞こえにくく、考える時間ももう少し欲しかった
- ・WSで本番を想定したグループワークが出来て良かった。色々な意見を聴いて学びになった。
- ・大変勉強になる災害や警報の紹介でしたが、聞こえづらかったので、マイクを使っただけだと思おう
- ・自分が雨を甘く見ていることがわかった
- ・今まで以上に責任感をもって考える事が出来た。もう他人事ではない。
- ・場所や家族構成など状況によって、違うとわかった為、知識が身についた
- ・住んでいる地域の避難経路を確認します。
- ・スピーカー、不適切な言葉の使用
- ・痴呆症は差別用語だと思あるので、「認知症」に訂正した方が良い
- ・今住んでいるアパートが犀川の洪水範囲内の為、非常にためになった
- ・わかりやすい説明と、楽しいWSでイメージを持ちながら学べた
- ・グループで事例をもとに話し合い、こうしよう、あれもいい、といくつも意見がでてより良い対策を考えられて良かった
- ・マイクを使用したらよい
- ・GWでは少し焦ったが、他グループの意見も聴く事ができ、良かった
- ・グループで他の所属(職場)の人と考える事が良かった。時間がタイトな事もあり、ただ発表しただけになっていた為、午後の講義の講評の部分も続けてあったらもっとフィードバックされて理解が深まったと感じた
- ・大雨でも大変な災害につながると学んだ。
- ・どう動くか考えるのが難しくてもう少しじっくり考えてみたいと思った。時間が欲しかった
- ・ニュース等で見る用語の事等について、深く知ることが出来た
- ・時間が短く、班での話し合いが終わらず、あまりまとまりませんでした

3. 避難所開設初動運営体験(開場/受付)について

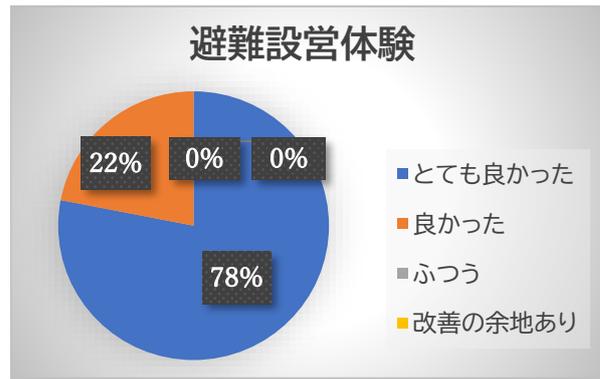
とても良かった (59)
良かった (22)
ふつう (1)
改善の余地あり



- ・どのように会場が運営されていくのか具体的に知れた。
 - ・実際に立ち上げからどのような動きをとれば良いのか理解出来た。
 - ・リアルさがあり、実際に体験している様だった
 - ・実際に受付体験が出来たので良かったです
 - ・どこまで出来るか不安になった。自分が出来ることを探したい
 - ・実際の流れがわかった
 - ・自分がかかりになった時も、流れがわかり、何かあった時にも少しは市民の為に説明できるかな、と思う
 - ・市民を迎え入れる時に、寄り添う心が大切だと感じた
 - ・本番はより混乱するだろうが、出来るだけ迅速に対応したい。良い経験になり、活かしたい
 - ・実際は混乱するだろうが、冷静に動きたい
 - ・招集された時、職員としてどう動くべきか想像出来た
 - ・イメージが良かった
 - ・避難所にするには、準備が必要なのだ、と驚いた
 - ・体験しないとわからないことがあり、体験出来てよかった。今まで関心を寄せていなかったのが新鮮だった。
 - ・本番さながらの流れで、今後に活かそう。わかりやすく、何をすべきか明確になった。
 - ・本番では協力して避難者を誘導したい
 - ・防災士の方々が本番と同じような熱量で自分たちに講義され、実際の災害時の行動もどうしたらよいかを考えることができた
 - ・積極的に参加し、市民が協力しやすい環境を整えたい。(協力したくても手を挙げにくい時もあるから)
 - ・避難者に寄り添い、声を掛けることが大切だと思った。安心できるよう積極的に声を掛けたい。
 - ・実演を間近でみられて良かった。その場にいる人で案内・受付をすることがわかった。積極的に声を上げたい。
 - ・一度では覚えられない事も多かったので、簡易マニュアルがあれば是非戴きたい。日頃からマニュアルを頭に入れておきたい
 - ・まず、安全確認が必要だと知ることができた
 - ・これからは私たちが市民の方を誘導する側になるので、今日習ったことを少しでも行動に移したい
 - ・実際の職場では、騒然となることが予想されるが、やるべきことの確認ができたのは良かった
 - ・経験したことが無かったので、しれて良かったのと、積極的に動かしていきたい
 - ・ロールプレイングがわかりやすかった。演技があり、面白かった。
 - ・実際の市民のような、デモンストレーションが良かった。今日の体験を思い出して行動出来そうです
 - ・実際の状況がわかりやすく、もし同じように助けが必要な場面があれば、手伝いたいと思いました
 - ・演技がうまかったため、臨場感が味わえて良かったです
- 実際の動きがわかりやすかったが、急に始まって、誰がいるのか、デモンストレーションの一部なのか説明されているのか、混乱したので、ナレーションが全部まとめて説明するともっとわかりやすかったです
- ・手伝いが必要な方用の受付があることでどんな方でも安心して避難することが出来る、と思った
 - ・スムーズに動き(流れ)を作るにはどうしたらよいか、頭を使うことが出来た

4. 避難所設営体験について(ワンタッチテント・パーテーション・トイレ設営等)

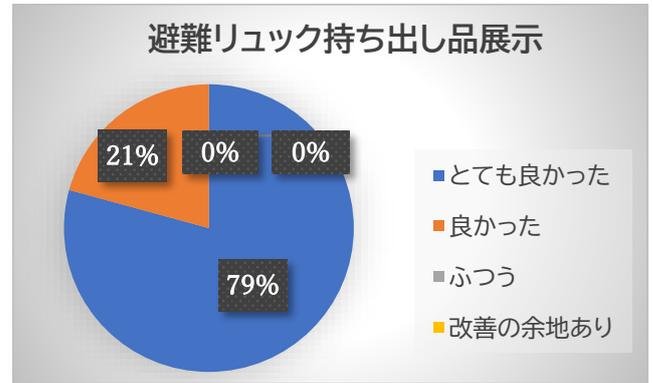
とても良かった (64)
良かった (18)
ふつう
改善の余地あり



- ・ちゃんと覚えておきたい
- ・初めて見る作業で、とても貴重な経験となった
- ・テントを立てるのが楽しかった
- ・思っていた以上にテントを張るのに力が必要であった
- ・テントや簡易トイレの設営はとても参考になった
- ・実際に体験できてよかった
- ・便利な物があるな、と知れた
- ・トイレを作れるようになりたい
- ・キャンプ用のテントよりも簡単でかなり早く対応出来そうだと感じた
- ・簡単に設営できるので驚いた
- ・物品をみせていただき、良かったです
- ・慣れていないと手間取りそうですが、積極的にお手伝い出来たらいいなと思った
- ・避難所での生活がどんな感じなのか、知ることができた
- ・初めて見るものばかりだったが、実際に使う機会があったとき、落ち着いて出来そう
- ・テントやパーテーションの設営も体験してみたかった
- ・避難所の設置が思ったより難しかったが知ることが出来た
- ・トイレを次の人のために用意をする、次の人のことを考えることが大切だと感じた
- ・テントの組立て方も、避難所開設ボックスに入っていますか？見ないとできない気がするので、是非入れて欲しい
- ・実際にこんなものがあるのだ、と知った。良い機会だった
- ・思ったよりも衛生的だったので安心しました
- ・本番では、焦らず、協力したい。自ら進んで設置したい
- ・使い方を知ることが出来て、事前の知識を得られた。どのような状況で使用するかの説明もよかった
- ・トイレの設置を家族に伝えたいと感じた
- ・いざという時に経験しているかどうかで、対応に違いがあるので大変有意義でした
- ・ワンタッチテントの片付けの工程が難しそう
- ・組立てる様子を見たことが無かったので、1回やり方を見ておくだけでも大変役立つと感じた
- ・テントの設営を行ってみたかったです
- ・特にトイレは実践的だった。実習ができて体験が良かった
- ・トイレ設営など日頃知る機会がないが、発災時に必要となる知識を知ることが出来て良かったです
- ・実践の時間が設けられていて、理解が深まりました
- ・近くで見ることができ良かった。トイレ設営は1度やっておくと出来る簡単なものだったので、周りの人に伝えていきたい
- ・トイレはとてもプライバシーに関わることで感染に気をつけながら、ひとりひとりが行動行くことも求められると知った
- ・避難時だけでなく、凍結などにも活用できるので自ら設営をおこないたい。おぼえておきたい。

5. 避難リュック持ち出し品の展示について

とても良かった (65)
 良かった (17)
 ふつう
 改善の余地あり



- ・トイレ物品や、ナプキンが止血に使えるなど参考になった
- ・思っていたより多く物があり、驚いた
- ・備蓄の重要性がわかった
- ・備えたい
- ・具体的な準備品がわかった
- ・とても参考になった。家族構成により準備する内容が変わることを感じた
- ・人によって様々で、自分用意したいと思った
- ・設定が細かくて良かった
- ・自分でも用意しているが、足りない物があると気付いた
- ・自分で準備する手本にしたい
- ・何人分の荷物がどのくらい必要かわかった
- ・とても参考になった。我が家にも活かしたい
- ・非常食にもいろいろなものがあることを知った
- ・他者の防災グッズをみる機会となった。新たな防災グッズを知れた
- ・思った以上に用意が必要だった。ビスケットなど今日にでも買いに行こうと思った
- ・自分なりのリュックを作るんだ、と見ていて面白かったです！
- ・備えの大切さがわかった
- ・自分の生活に合った、持ち出し品の取捨選択が重要だと思った
- ・職種や性別によって持ち物が違ったことが興味深かったです
- ・立場によって持ち物の違いがあり、面白いと思った
- ・すぐに自分も準備しようと思います
- ・必要不可欠なものがしっかりまとまっていた
- ・年代ごとにあってとても参考になった
- ・普段家で使用しているものや、非常時に必要となるものがあつたので、事前に準備したり状態が使用できるかできないか時々点検も必要と感じた
- ・コメントがあつて見やすかったです。人目で必要なものがわかった。
- ・一人暮らしなので、リュックに少しでもまとめておこう、と思いました。本やお菓子など気分転換になるものを入れる発想が良かったです
- ・それぞれの家族構成により、こだわりが違って参考になった。年代や性別に応じた準備が詳しくされていて良かった
- ・持ち主の特徴説明が勉強になった
- ・私は、水と少しの食料くらいしか準備していないので、皆さんの避難リュックをみて自分の考えの甘さを実感。
- ・セットで売っているものしか見たことが無かったので、その人に合わせた内容を見る事ができてとても参考になる
- ・避難所に行けば、自分が欲しい物が全て揃っているわけではないので一度考えるべき。
- ・自分の見直しになった。危機感をもち、準備したい。そういうものがあつたらいいな、と発見になった。

6. 本日の企画について主体的に取り組めたか。金沢市職員・いち社会人としての気づきについて

- ・金沢市の職員として、ひとりの避難者としてではなく、市民のために自分が行動する気持ちを持つことの大切さを感じる事が出来た。安心と届けていけるよう頑張りたい。
 - ・これまで災害時の行動について、具体的に考えられてなかった、自分事とし、実際に考える機会となった
 - ・実際災害が起こった時、今日の学びを活かし、市民を誘導したい。
 - ・実際に動いたり、被災時の動画を見ることで自分ごととして主体的に取り組めた。学びを家族にも伝えたい。
 - ・ニュースで見ていた避難所の様子では伝わらなかったスタッフさんたちの努力などを見、市職員として行動していく。
 - ・金沢市の職員として、万が一災害等が起きた時、積極的に対応できるように日々意識を高めて、知識を蓄えていく
 - ・市民の皆様全体のために主体的に動かなければならない、と改めて意識するきっかけとなった。
- 普段から意識していない内容が多く、そしてまた職員は助けに行かなければならない立場でもあることを実感した
- ・仮設テントの設営・仮設トイレを実際に組立てることで、仮設の大変さを知った。市職員としてやるべきことが多く災害時に対し、準備の必要性を学べた。様々な知識・体験が身につけて良かった。
 - ・防災について、受動的だったがこれからは市職員として考えていかねばならない、と感じた
 - ・市職員として、災害時は迷いなく動けるよう日々、心構えを持ち、行動していきたい
 - ・災害が起きた時、すぐに動けるように、自分の備品を揃えておくなど、日頃から準備が必要と学んだ。
 - ・グループ全員で協力し、意見を出し合い、まとめ発表できた。一人では思いつかなかったこともあり、協力すればより良い策につながると気付きました。
 - ・避難所開設体験では、サポートにすぐに入れなかったのがこの経験を活かして動けるようにしたいです。
 - ・GWでは、自分の意見を発言したり、他者の意見を聴く事が出来たが、避難所開設では、積極的に参加できなかったため、もっと積極性が必要だと感じました。
 - ・怪我人がでて、自分が医療に関わっていかなくとも主体的に助けに行く必要があるなど強く感じた。災害は今日起こるもの、という意識を持って行動したい。
 - ・自分から進んで取り組む姿勢を大切にしたい。
 - ・もう少し主体的に取り組むべきだったと思う。次回から挙手して参加していきたい。
 - ・「風化」と「無関心」は違う。自分にも起きること。という意識を忘れないようにしたい。
 - ・地区支部員の行動や動きなど、全く知らなかった点も多く、学べてよかった。
 - ・災害時に、対応を知らないと、他者に教えたり、自分の行動が出来ないので今日の訓練を忘れずにいたい。
 - ・全員が突然の災害に戸惑いがある中で、一度勉強したことがあると誰かの約に建てるかもしれない、と思った。勇気を出して協力したいと思う。
 - ・市職員として、自ら出来ることを探しに行く姿勢を持とう、と思った。
 - ・一人一人の役割を決めて、全体のことを考えて動く事が大事だと思いました。
 - ・朝の講義で、他人事ではなく自分事として考えなくては、という意識になりました。今後身も心も準備したい。
 - ・災害の時こそ、ひとりひとりの助け合いが重要だ。近所の人にも気を掛けていきたい。
 - ・定期的に災害の備えについて取り組む必要があると感じた。
 - ・トイレ設営等、災害が起こった時に積極的に行き、常にひとの気持ちを考えて行動していく。
 - ・防災に関しての知識、被災中の生活に関する知識を深めないといけないと気が付いた。
 - ・助けをもとめられた時、すぐに行動に移せる勇気がまだ足りないと思った。市民を守りたい。
 - ・防災の話聴く機会はあったが、実際にトイレ、テントなど使用法について学んだことが無かったので大変役立った。
 - ・災害時、すぐに駆け付けなければ、と思っていたが、自分も被災者になることを忘れていた。まず、自分が行動出来る備えと心構えをしておかねばならないと学んだ。

7. 今後やってみたい活動、知りたいこと、あなたのお考えについて

- ・防災リュックを作りたいです！
- ・困っている人がいたら助けたい。
- ・実際に危険な所を見たいと思った。
- ・代表の人だけでなく、全員でアルファ米を作ってみたり、テントを組立ててみたい。
- ・市の職員としての動きをおぼえたいと思った。
- ・より実際に想定したデモンストレーション
- ・避難所の生活についてもっと詳しく知りたい。
- ・防災リュックの中身を検討したい。今日の学びを家族や友人に伝えようと思う。
- ・実際の避難所設営を行ってみたいと思った。
- ・今後、災害時には避難所運営に参加したいと思った。
- ・実際に避難する際の注意事項等を知りたいです。
- ・実際に災害が起こった時の、各部署内の連携練習。
- ・アルファ米以外の簡単に作れる非常食が知りたい。
- ・保育所でもアルファ米の炊出しを行いたい。小さいうちからいつ地震が来てもおかしくない、ということ怖がらないトラウマにならないように伝え、防災意識を高めていきたい。
- ・災害時の金沢市職員がやらなければいけないことを、避難所設置や対応マニュアルを作って欲しい。
- ・ポケットサイズで日頃から携帯出来る物、連絡手段や連絡先、避難所の区画一覧も載せて欲しい。
- ・防災グッズや避難グッズを知る研修や、新たな災害について定期的に知りたい。
- ・地元が金沢でないので、地元で災害が発生した時にボランティアとして参加したい。
- ・ハザードマップ・詳細な住む地域の危険リスクの確認、避難ルートの確認をしたい。
- ・定期的な防災訓練を行う必要がある。
- ・テントの組立てを自分たちで体験してみたい。
- ・実際に崖崩れ・内水被害が起きそうな場所でポイント別に危険予測をする研修。
- ・普段から防災グッズ・避難リュックを家の玄関近くに置いておこうと思った。
- ・発災時の訓練を一部職員の身でなく、全職員でやることで日頃から役割等の確認が出来ると思う。
- ・介助が必要な人達の避難等でどんな手助けが出来るか、など、知りたい。
- ・災害時、防災について先頭に立ち行動出来るようになりたい。
- ・避難所設営のための点検や問いRえの設置など、初動で戸惑いそうな場面で積極的に動きたい。
- ・私の地域には高齢者が多いので町内の避難訓練に参加したい。
- ・東北を訪れ、より主体的に何を行動すべきか考えたい。
- ・避難の練習
- ・実際にアルファ米を調理してみたい。
- ・配属先など、実際の自分の立場で災害時どのような仕事をするのか気になった。
- ・管理栄養士として、災害食や備蓄食に関してレシピを作成する等の活動が出来ればよいと思う。
- ・自分の安全を守りながら、市民の安全を守るように日々考えていく。
- ・今日は見ているばかりになっていたので次機会があれば、自分から積極的に参加・手伝います。
- ・実際に避難所を見たい(写真など)
- ・防災について、周知できたらよい。
- ・防災テントを買える場所を知りたい。